

令和元年度 事業報告

社会福祉法人しらゆり会

設立認可 : 平成17年2月25日
所在地 : 豊中市中桜塚2丁目9番24号
代表者 : 理事長 武内慎吾

法人概要

【法人の沿革】

平成 17 年 2 月	「社会福祉法人しらゆり会」創設	理事長	吉田純彦
平成 17 年 4 月	「さくらづか保育園」開園（定員 70 名）	園長	豊島朱美
平成 19 年 4 月	「のばたけ保育園」開園（定員 140 名）	園長	吉田純彦
	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	土井文子
平成 23 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 90 名に変更		
	「のばたけ保育園」定員 160 名に変更		
平成 25 年 4 月	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	村上美香
平成 27 年 9 月	「のばたけマミー保育園」開園（定員 20 名）	園長	奥瀬佳代子
平成 29 年 6 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	浅尾利機
平成 30 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 120 名に変更		
平成 30 年 7 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	武内慎吾

【保育の方針】

保育理念：「こどもはみんな宝物」

「こども達の最善の利益の尊重」

「こども達の育ちを支え、保護者の子育てを支える」

保育目標：「心身ともに健やかで、仲間を大切に生き生きとしたこどもの育成」

- しなやかな身体と心を育む
- 仲間の中で自己主張でき、自分のことだけでなく相手のことも考え、認め合い、豊かな関わりを持つこどもを育てる
- 自分は大切な存在であると、自信をもって行動するこどもを育てる
- 自分で考え行動し、達成感・満足感を持てるこどもを育てる

職員心得

- 私たちはこども第一で仕事をします
- 保育士は、こどもの模範である事を常に自覚し、常識と良識に基づいて行動します
- 職務上知りえた個人情報の秘密を守ります
- 保育士として、常にその専門性の向上に努めます
- 保護者との信頼関係の構築に努めます
- 常に自己の責任の下に行動し、報告・連絡・相談を怠りません
- 他の職員との間で、お互いに良好な関係を保つ努力をします

【施設の概要】

さくらづか保育園 園長：村上 美香

所在地：〒561-0881 豊中市中桜塚2丁目9番24号

連絡先：TEL/06-6843-5868 FAX/06-6858-8088

E-mail/sakura5868@sakuraduka.ed.jp

のばたけ保育園 園長：吉田 純彦

所在地：〒560-0053 豊中市向丘3丁目2番1号

連絡先：TEL/06-6848-4560 FAX/06-6848-4426

E-mail/nobatake1@road.ocn.ne.jp

のばたけマミー保育園 園長：奥瀬 佳代子

所在地：〒560-0002 豊中市緑丘4丁目35番19号

連絡先：TEL/06-6853-3533 FAX/06-6151-5455

E-mail/nobatake.mami@clock.ocn.ne.jp



施設名		さくらづか 保育園	のぼたけ 保育園	のぼたけマミー 保育園
定員 (弾力化)	0歳	9 (15)	15 (15)	6 (6)
	1歳	20 (24)	25 (25)	7 (8)
	2歳	22 (24)	30 (36)	7 (7)
	3歳	23 (26)	30 (30)	—
	4歳	23 (27)	30 (30)	—
	5歳	23 (27)	30 (48)	—
	合計	120 (143) 名	160 (184) 名	20 (21) 名
職員数 (内非常勤)	園長	1	1	1
	副園長	—	1	—
	保育士	34 (14)	38 (9)	10 (2)
	保育補助	3 (3)	1 (1)	—
	看護師	1	1	1
	調理員	5 (3)	5	2
	用務・警備員等	2 (2)	3 (3)	—
	事務員	2 (1)	1 (1)	—
嘱託医	内科	1	1	1
	歯科	1	1	1
	眼科	1	1	—
	耳鼻咽喉科	1	1	—
第三者委員		岡本 清治	安芸 雅美	
		松 公造	平川 郁子	
敷地	全体	1665.60 m ²	4594.34 m ²	—
	園庭	370.19 m ²	864.34 m ²	—
建物	構造	鉄骨・木造平屋建 ／木造2階建	鉄筋コンクリート造2階 建／木造平屋建	賃貸 (株)千里ハイツ
	延床面積	916.78 m ²	1328.98 m ²	130.25 m ²

法 人 報 告

各施設の施設長や主任保育士が集まり、合同会議を定期的に開くことができた。その中で、各施設における職員処遇や運営状況も徐々に統一化していくことができています。

運営に関しては、正規職員の退職者を多く出してしまった。原因としてはコミュニケーション不足が大半であり、改善策として乳幼児リーダー以上との会議や職場の働きやすさ改革案を頻繁に話し合い、職員全体に落とし込んでいく。現状は改善策を施している状況と言える。また、給与面に関しても、賞与の支給率をアップし離職に繋がる要因を減らしていく。

経営面としては、各施設とも積立金を計上することができ、良好な経営状態を保つことができたと言える。

1. 理事会・評議員会開催状況

日 付	会 議 名	主な決議内容
令和元年5月29日	第1回 理事会	事業報告、決算、新役員候補者
令和元年6月15日	第1回 定時評議員会	決算、役員の選任
令和元年6月15日	第2回 理事会	理事長・業務執行理事の選定
令和2年2月25日	第3回 理事会	事業計画・予算
令和2年3月27日	第2回 評議員会	事業計画・予算

2. 協議会開催状況

日 付	会 議 名	主 な 内 容
令和元年4月22日	第1回 施設長会議	事業報告、時間外保育料など
令和元年5月16日	第1回 運営会議	理事会事前打合せ
令和元年6月12日	第2回 施設長会議	有給休暇、出勤簿など
令和元年7月17日	第3回 施設長会議	主・副食費、出勤簿、定年後の再雇用など
	第1回 主任会議	
令和元年8月7日	第2回 運営会議	法人の今後についての協議
令和元年9月30日	第4回 施設長会議	給食費徴収方法などの詳細
令和元年12月27日	第5回 施設長会議	お泊り保育の手当、インフルエンザ予防接種など
	第2回 主任会議	
令和2年2月12日	第3回 運営会議	理事会事前打合せ

3. 月例監事確認

日付	監事名	確認対象月	場所
令和元年7月10日	二宮 健司	4月	山下公認会計士事務所
令和元年8月27日	遠藤 勝孝	5月～6月	山下公認会計士事務所
令和元年9月30日	二宮 健司	7月～8月	山下公認会計士事務所
令和元年10月28日	遠藤 勝孝	9月	山下公認会計士事務所
令和元年11月26日	二宮 健司	10月	山下公認会計士事務所
令和元年12月18日	遠藤 勝孝	11月	山下公認会計士事務所
令和2年1月28日	二宮 健司	12月	山下公認会計士事務所
令和2年2月26日	遠藤 勝孝	1月	山下公認会計士事務所
令和2年3月23日	二宮 健司	2月	山下公認会計士事務所
令和2年5月22日	二宮 健司 遠藤 勝孝	3月	のばたけ保育園

各施設報告

【さくらづか保育園】

1. 月別利用児童数（上段：初日在籍、下段：出席累計）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員 (弾力化実数)	9 (15)	20 (24)	22 (24)	23 (26)	23 (27)	23 (27)	120 (143)
4月	12	24	24	26	27	27	140
	243	463	488	476	543	505	2,718
5月	15	24	24	26	27	27	143
	254	428	471	464	524	483	2,624
6月	15	24	24	26	27	27	143
	278	467	490	516	532	496	2,779
7月	15	24	24	26	27	25	141
	311	514	508	530	561	504	2,928
8月	15	24	24	26	27	25	141
	266	434	425	457	460	409	2,451
9月	15	24	24	26	27	25	141
	261	435	466	487	504	455	2,608
10月	15	24	24	26	27	25	141
	308	495	496	556	567	536	2,958
11月	15	24	24	26	27	25	141
	293	481	451	500	523	506	2,754
12月	15	24	24	26	26	25	140
	273	466	450	502	501	467	2,659
1月	15	24	24	26	26	25	140
	276	439	449	468	483	470	2,585
2月	15	23	24	26	25	26	139
	266	426	438	449	485	436	2,500
3月	15	23	24	26	26	25	139
	276	368	409	468	491	444	2,456
合計	177	286	288	312	319	307	1,689
	3,305	5,416	5,541	5,873	6,174	5,711	32,020

2. 職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	2名	7名	令和2年度 補充6名
非常勤職員 (派遣職員除く)	3名	5名	令和2年度 補充3名

3. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

- 5月の【親子お楽しみ会】の時に令和3年に幼保連携型こども園に移行していくことの報告と説明をした。また、3月の入園説明会時にも同様の説明をした。
- 主任・副主任・乳幼児リーダー会はフリーの補充が不十分だった為、定期的に会議を取り入れることができず、保育士間の連携が上手く取れなかった。
- 給食材料の発注先を見直し、安全・安心・安価の業者に変更をした結果よりよい給食になった。
- 3月より新しい登降園システムを導入し、大きなトラブルもなく運用できている。今後は、カリキュラムの作成等にも活用していき、職員の事務負担軽減につなげていく。

4. 取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員会議では、気になる子の姿を通してグループワークをし、意見がでたことを実践に取り入れた。また、次回の会議で報告をしながら振り返りをし、保育の見直しが必要な子どもの見方を考えた。 ● 幼児期までに育ててほしい10の姿の園内研修を積み重ね、保育の中で意識するようにはなってきたが、まだ浸透するには課題があるので、引き続き全体で研修をしていきたい。
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務時間の確保に努めできるだけ勤務時間内に事務や作業が終えるようにした。また、残業になった場合の手当の支給を職員の意見を取り入れながら、見直し実践している。 ● 有給消化率は99.7%であった。引き続き100%を目指していく。

地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 0歳児・1歳児と分けてサークルをしていたが、0歳児の利用がかなり多くなったため、どの学年のお子さんも参加できる【さくらっこサークル】開催を毎月行った。 ● 地域の方をお招きして【地域給食サロン】を月に1回開催した。 12月は地域老人会【まほろば会】の方が来園し、2歳児～5歳児のお子さんと一緒にお店屋さんごっこで交流を行った。 9月の敬老の日・1月のまほろば会には年長児が参加して交流を行った。 ● 北桜塚自治会のおもちつきに参加をし、地域の方との交流を図った。
------	---

5. その他特記事項
特になし

【のぼたけ保育園】

1. 月別利用児童数（上段：初日在籍、下段：出席累計）

区 分	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
定 員 (弾力化実数)	15 (15)	25 (25)	30 (36)	30 (30)	30 (30)	30 (48)	160 (184)
4 月	12	25	36	30	30	48	181
	229	485	697	590	575	925	3,501
5 月	15	25	36	30	30	48	184
	258	446	657	569	554	922	3,406
6 月	15	25	36	30	30	48	184
	265	490	689	611	606	1,004	3,665
7 月	15	25	36	30	30	48	184
	311	533	725	638	631	1,064	3,902
8 月	15	24	36	30	30	48	183
	254	450	602	500	513	769	3,088
9 月	14	25	36	30	30	48	183
	251	427	648	528	528	907	3,289
10 月	15	25	36	30	30	48	184
	264	466	714	597	614	983	3,638
11 月	15	25	36	30	30	48	184
	283	487	714	589	594	955	3,622
12 月	15	25	36	30	30	48	184
	286	509	701	587	580	927	3,590
1 月	15	25	36	30	30	48	184
	267	466	655	565	557	854	3,364
2 月	15	25	36	30	30	48	184
	272	466	686	539	525	775	3,263
3 月	15	25	36	30	30	48	184
	300	495	681	587	566	864	3,493
合計	176	299	432	360	360	576	2,203
	3,240	5,720	8,169	6,900	6,843	10,949	41,821

2. 職員定着状況

区 分	採用者数	退職者数	備 考
常勤職員 (正規職員)	9名	9名	令和2年度 補充9名
非常勤職員 (派遣職員除く)	1名	1名	令和2年度 補充0名

3. 本年度重点的に取り組んだ事項

- 「幼児期までに育ててほしい姿」(10の姿)を中心に、それらが総合的な活動としての遊びや生活の中で活かされるよう、保育環境の見直しや保育計画および書式の見直しと充実に取り組む。
- 職務リーダーの意識向上により、園全体の質の向上に努める。
- 他園交流を深める。(幼稚園・保育園・こども園・小学校)

4. 取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 園長が職員会議等を通して園が大切にしている思いを園内研修や会議などで話すことで新しい職員にも意識統一を図ることができた。また以前からいる職員も話し合いの中で再認識をし、全職員の意識の共有を図ることができた。 ● 園内研修の中で、互いの保育の取り組み方法や悩みなどを共有する中で、当たり前に行っている保育を多角的に保育を見つめなおす機会を持ち、全体的な保育力のアップにつながることができた。 ● 外部研修で学んだことを会議やミーティング等で発表することで互いの研鑽を積み上げることができた。 ● 専門機関の助言を受けることで支援担当者の悩みを緩和し、担当児童のよりプラスとなる支援を行うことができた。 ● 地域の連絡会や交流会に積極的に参加することで、情報交換を交えながら連携を図ることができた。

職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育士間のコミュニケーションを図る機会を多くもつようにし、若い職員の悩みを聞いたり、先輩職員がアドバイスやフォローを心掛ける様にした。 ● シフトや休憩時間の組み方などの見直しを図り、保育準備やミーティング時間に無理がないように行うようにした。 ● キャリアパスへつながる研修に各自が積極的に参加した。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 月1回「こっこ・ぴよぴよサークル」を行い、地域の0～1歳児の親子に対して遊びの提供や、発育測定や育児相談を行う。また、夏のプール開放や焼き芋大会、もちつき大会などの園行事に参加してもらった。 ● 地域（野畑校区福祉会）子育てサークルこんぺいとうに場の提供、出前保育であそびの提供や育児相談等を行った。 ● 園庭開放（月～金曜日 10：00～11：30） ● 野畑図書館駐車場提供（日曜日） ● 保育実習生、中学生職業体験、ボランティア等の積極的な受け入れに取り組んだ。

5. その他特記事項

特になし

【のぼたけマミー保育園】

1. 月別利用児童数（上段：初日在籍、下段：出席累計）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員 (弾力化実数)	6 (6)	7 (8)	7 (7)	—	—	—	20 (21)
4月	5	8	7	—	—	—	20
	120	192	168				480
5月	5	8	7	—	—	—	20
	110	176	154				440
6月	6	8	7	—	—	—	21
	150	200	175				525
7月	6	8	7	—	—	—	21
	156	208	182				546
8月	6	8	7	—	—	—	21
	156	208	182				546
9月	6	8	7	—	—	—	21
	138	184	161				483
10月	6	8	6	—	—	—	20
	144	192	144				480
11月	6	8	6	—	—	—	20
	144	192	144				480
12月	6	8	6	—	—	—	20
	144	192	144				480
1月	6	8	7	—	—	—	21
	138	184	161				483
2月	6	8	7	—	—	—	21
	138	184	161				483
3月	6	8	7	—	—	—	21
	150	200	175				525
合計	70	96	81	—	—	—	247
	1,688	2,312	1,951				5,951

2. 職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	1名	1名	令和2年度 補充 1名
非常勤職員 (派遣職員除く)	0名	0名	令和2年度 補充 0名

3. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

<保育内容>

- 低年齢児の主体性を育てる保育。意欲を引き出すための環境設定
- ポートフォリオやドキュメンテーションを、保育の記録・伝達ツールとして活用する。
- 運動遊びを楽しみながら、体幹を鍛え、安定した体の基礎をつくる。
- 自然に触れて遊ぶ。
- 近隣の自然の中で遊ぶ・小動物の飼育・野菜の栽培。
- 食材に触れたり、作る過程を経験することで、食への意欲を高める。

<職員処遇>

- キャリアアップ研修等に積極的に参加するとともに、園内でも学習会、意見交流を通して学びの場を増やし、同僚性を高め、保育の質の向上を図る。
- 有給休暇の取得率を高め、健康維持、メンタルケアに努めることで保育へのモチベーションを上げ、より良い保育へとつなげる。
- 保育から離れて事務作業をとる時間を確保する。

<保護者支援>

- 保護者理解・寄り添う支援・きめ細やかな対応。

<地域支援>

- 声かけ・関わりやすい雰囲気づくり

4. 取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの思い・興味に応じた支援の仕方・声かけの工夫が見られた。 ● 園児一人ひとりに丁寧に関わる姿が増え、エピソードの伝達が増えた。 ● 主体性の尊重と自由気ままの区別、社会性の学びなど子どもが気づいて納得できるよう判断や伝え方について学び実践する工夫をした。 ● 子どもの興味や意欲が育つ環境設定の工夫をすることで、遊びは広がったが、単発で終わることが多く継続して発展させることが今後の課題となる。 ● 夏野菜・サツマイモなど栽培・収穫・クッキングという過程で、食材に触れたり、給食室の様子を見て、食物が育ち、調理される様子を見たり、実践することで、食への興味が深まった ● みかんの木に産み付けられたアゲハ蝶が卵から羽化して飛び立つまでを飼育観察し、生命の不思議を感じいのちを大切に思う気持ちが育った ● 意欲的に運動遊びに参加し、自由に遊びを選んで遊び、動きが安定し身のこなし方や、危険回避などもうまく対応できるなど身体能力が高くなった。 ● ポートフォリオ・ドキュメンテーションについては。日々の記録のみに留まり、次年度持越しとなった。 ● きめ細やかに保護者に関わることで、子ども理解・保育への理解が深まり、家庭とともに子育てをする意識作りに繋がった。
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務上がりはできるが、環境として完全に園児や保護者から離れることが難しい中での作業になる。 ● 働きやすい職場作り。 同僚性を高め、保育士が支えあう環境ができ、協力しあって仕事に取り組む姿勢ができた。 ● 話し合いに時間がかかるので効率化が課題。 ● 可能な限り有給を消化できるよう勧めた。取得率 79.5%→86.1%
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 0歳児育児中の参加者が多く、安心して遊べ、保護者同士も交流できる場所を求められている。狭い空間なので園児は散歩に出かけて場所を提供したり、一クラスだけと交流するなど、工夫した。次年度は妊娠中の方にも範囲を広げる予定。

5. その他特記事項

保育室床研磨・A I コーティング